

以て各地元代議士を訪問した。山崎農相には強い決意があつたが之等法案が審議未了に終つたと云ふ事は如何に大きな力が働いたかがわかる。この運動中に提出案の修正は免がれないとの事を聞いて吾々委員は一層緊張して無修正通過なき限り一步も退かぬとの意見で少数委員は修正される位ならば寧ろ潔よく之の法案を放擲しようと思つた。黨利黨略にのみ働く代議士に頼る事は出来な。産業組合の何たるかを知らない代議士が澤山ある。吾々は自覚せねばならぬ。全國代表の間で關係地方より一名の代議士を出す爲に自らの資金と自らの選出を甲合せたのである。興へらる可きものが興へられなかつた事は悲壯なる勝利であつたと思ふ、今後新しき工作を樹てて邁進せよ

5、
激勵演説

○ 福岡縣信用組合聯合會 石井
これを機として眞に自覚せよ、自からの事は自からの力で行け、他力本願ではいけない。従らに法の力を頼る必要はない。二法案に對する敗戦により他方に於て徹底的な信念を得るならばより大なる收穫である。

○ 福岡縣信用組合理事(藤原) 藤原 隆 輔
重要農政法案審議未了は米穀商の反對、政府の提出時期が遅れた事、代議士の無理解等多くの原因によるものであるが米の法案は商人の打撃になる程のものでもなく又農民に大なる利益を齎らすものでもない、政治の要諦は小を削して大を救ふにある。今後は農村の代表者を送り團結して農村振興に努力せよ。

○ 日農九州同盟會

菊竹 東 造